

事業所名 二戸市社会福祉協議会 発達支援センター風(放課後等デイサービス)

支援プログラム

作成日

2024 年

9

30 日

法人（事業所）理念		法人：『地域を知り共に支え合うまち二戸』 事業所：『いわてのどこに生まれても同じ支援を』の考えの元、親子の日々の暮らしを豊かにするための子育て支援を行う								
支援方針		・心身の発達につまずきやかたよりがあるお子さんを対象に、感覚統合の考えを取り入れた一人一人に合った療育支援を行う ・アセスメントを基に、それぞれの特性・発達の状況に応じた個別またはグループの活動を提供します。グループに応じた課題設定を行う ・各関係機関と情報を共有し、共通認識を持って支援を行う ・小集団活動（プール・感覚遊び・感覚運動・調理・製作・ゲーム遊びなど）を通じて、将来的な自立へ向けて、それぞれのねらいにそって生活技術を学び社会性を養う ・障害の特性に配慮し、時間や空間を本人にわかりやすくする構造化、視覚支援、TEACCHプログラムを参考に子どもの特性に合わせた環境面からのアプローチを行う								
営業時間		8 時	30 分	から	18 時	0 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	☆生活スキルの取り組み ・清潔・排泄・食事・睡眠などの基本的生活習慣の確立 ・時間管理・金銭管理・調理、洗濯、掃除・整理整頓などの生活技術の習得 ・中学生はライフスキルを身につけるための支援								
	運動・感覚	☆感覚統合を取り入れた、しっかりとした身体づくり プール活動・感覚遊び・感覚運動など、様々な遊びを通じて視覚・聴覚・味覚・嗅覚・触覚の五感、筋肉や関節の動かし方を知る固有覚、姿勢の維持、バランスの大事な感覚を整える前庭覚を育てるための感覚統合を促す支援								
	認知・行動	☆社会スキルの取り組み～活動を通じて社会性を育てる（ソーシャルスキルトレーニング） ・感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難さから生ずる行動に対して、事前の環境調整・具体的説明・視覚提示を行い、適切な行動が身につけられるような支援 ・自己理解を深めるための支援 ・ルール理解～生活の中で自然と身につけていく世の中のルールやマナーが身につけられるよう、具体的な説明や丁寧な関り								
	言語 コミュニケーション	☆社会スキルの取り組み～活動を通して社会性を育てる（ソーシャルスキルトレーニング） ・小集団活動を通じて、伝えてよかった経験・援助要請等、言葉で表現する力を養う ・実際の場面で、経験しながら適切なコミュニケーションの仕方を学べるような場面作り								
	人間関係 社会性	☆社会スキルの取り組み～活動を通して社会性を育てる（ソーシャルスキルトレーニング） ・自己理解の学び～自分のことを正しく理解し、自己肯定感を高める ・集団参加～自分なりの参加の仕方を身につける ・人間関係スキル～小集団活動の中で、友だちとの適切なやり取りの仕方、協力する・共感する・人と関わる楽しさを経験し学ぶ ・困りごとや相談に応じ、対処方法や必要な支援の手立てを共に考える								
家族支援		☆学習会：将来の自立に向けて、知識や情報を得るための学習会を行う（ペアレントトレーニング、性・特性・将来・様々な働き方などの学習会、支援学校高等部・福祉就労先の見学など） ☆個別相談：保護者が抱えるお子さんについての悩みの相談を、随時受ける ☆進路相談：今後の進路について随時情報の提供や相談に応じる ☆他機関との連携：市町村・保健・医療・福祉サービスとの連携を行う				移行支援		・移行先へ、子どものこれまでの経過・支援内容・保護者の意向などの引継ぎ ・児童クラブとの並行利用の場合、利用日数や時間等の調整、援助方針や支援内容等の共有		
地域支援・地域連携		・医療機関・保健師・児童相談所・計画相談支援事業所等の専門機関との連携 ・教育機関の関係者等との連携 ・自立支援協議会への参加 ・個別のケース検討のための会議への参加 ・地域支援の体制の構築のための会議への参加				職員の質の向上		自立支援協議会、各種研修への参加、外部講師を招いての機関コンサルテーションの実施		
主な行事等		4月：オリエンテーション 8月：中学生夏休み集団療育 12月：忘年会・クリスマス会 3月：ともだちみんなの会（修了式）・中学生春休み教室								